

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	朝日有機センター	評価対象年度	令和 3 年度
指定管理者名	株式会社 有機センターあさひ	所管課	朝日支所 産業建設課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年)	評価者(課長)	鈴木健次

①事業実績

利用実績	堆肥の散布 9,390a
サービス向上の取り組み	施設の適正な管理及び堆肥の利用増進。

②管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (R元年度)	前年度 (R2年度)	当該年度 (R3年度)	合計	備考
収入	指定管理料				協定額: 0円
	利用料金	4,538	5,063	5,121	14,722
	自主事業収入				
	その他	2,739	2,360	6,107	11,206
	計	7,277	7,423	11,228	25,928
支出	管理経費	9,248	7,495	10,545	27,288
	(うち人件費)	1,050	1,003	1,218	3,271
	(うち光熱水費)	1,537	1,374	1,603	4,514
	(うち修繕費)	885	570	1,273	2,728
	(うち委託料)	2,924	2,466	4,807	10,197
	自主事業費				
計	9,248	7,495	10,545	27,288	
差引	▲ 1,971	▲ 72	683	▲ 1,360	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
・公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、施設を適正に管理し、農家へ良質な堆肥の利用を積極的に推進している。また、今後の堆肥散布面積拡大を目指すため、園芸部門においても堆肥の活用について模索する。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
・利用者から苦情も無く、適切に管理した。農家からの要望に応え業務改善に取り組んでいる。さらなる堆肥散布面積拡大のため、今後は園芸作物においても堆肥散布を推進していく。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由)					
・前年度までの赤字経営を黒字経営に転換することが出来た。 ・独自の口座を設けて、適切な収支管理をしている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	5	4	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) ・人員の配置や管理体制は適切であり、スタッフのスキルも万全である。 ・株式会社に移行し経営強化に努めている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) ・施設に異常がないか、随時適切に点検した。また、強風時や大雨時などにおいては毎日臨時点検を行った。				

④総合評価

評価点合計	82.0	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

・施設を適正に管理し、堆肥の利用を農家へ推進した。また、さらなる堆肥散布面積拡大を目指している。
--

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

・搬入養豚農家の廃業による畜ふんの搬入量減少が懸念されるため、新規搬入農家の模索を行い利用者ニーズに対応できるよう指導する。
--

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。